

松戸ロータリークラブ

【2010-11年度国際ロータリーテーマ】

地域を育み、大陸をつなぐ

Building Communities,
Bridging Continents

[第2671回例会]

会 報

No.2670

2011年4月13日 発行

●四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

●THE 4-WAY TEST

Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?



地域を育み、大陸をつなぐ

本日のプログラム

2011年4月13日(水)

卓 話

「松戸市内における治安の現状と課題」

松戸警察署長 熱田貢一様

次回のプログラム

2011年4月20日(水)

卓 話

松戸市長 本郷谷健次様

- 例会日 毎週水曜 12:30~1:30
- 例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム
TEL: 047-364-1111
- 事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F
TEL: 047-366-2266
FAX: 047-361-2255
U R L : matsudo-rc.com
E-mail : info@matsudo-rc.com

- 会 長 伊原 清良
- 会長エクト 常盤 映彦
- 副 会 長 加藤 栄
- 幹 事 松田 茂一
- 会 計 加瀬 仁
- 会報委員 松本 幸夫 申 澈権 太田原慎一
- 山田 達郎 澤田 正宏 土肥伸一郎
- 加瀬 仁 車田 善教 浅井 利明
- 三国 大吾

「ロータリーの友」 について

松本幸夫 会員



今月は「雑誌月間」ということで、ロータリーの雑誌についてお話をさせていただきます。ロータリーの雑誌の始まりは「THE ROTARIAN」です。この雑誌は、1911年3月に「The National Rotarian」という名前で創刊されました。

その後、1912年米国ミネソタ州ダルスで開催された第3回R I国際大会で「THE ROTARIAN」と改称され、今日に至っています。購読者も当初は3,000人程度でしたが、現在では約50万人に読まれています。「Rotary World Magazine Press」というのは、30の地域雑誌と「THE ROTARIAN」の総称です。「ロータリーの友」は1953年（昭和28年）1月に創刊され、現在98,400部発行されています。全国90,107名のロータリアンと2,300のクラブ、ガバナー事務局、海外の大使館、図書館や市役所などに配布されています。本日は、この「ロータリーの友」を掘り下げてご紹介させていただきます。

3月25日に港区芝公園の「ロータリーの友事務局」を訪ね、二神編集長とお会いしてきました。普段、とてもお忙しい方のように、なかなかタイミングが合わなかったのですが、お会いしてみると、事細かに色々なことを丁寧にお話いただき、大変感じの良い方でした。

P36をご覧ください。右に「職員」とあり、10名の名前が記載されています。この10名は全員常勤の職員です。左には、「社員」が6名記載されています。この方々は、「職員」という意味の社員ではなく法人の運営等に関する一切の事項を決議することができる「社員総会」の構成メンバーである「社員」です。真ん中に「理事会」ということで、代表理事以下20名の理事と監事、相談役が記載されています。このメンバーで月1回理事会を開催し、業務執行に関する決定をしています。

P3に「ロータリーの友編集委員会」というものが載っています。毎年メンバーが入れ替わる単年度制です。年3回の委員会全体会議と年2回のゾーン会議に出席します。この表の中に全地区のガバナーから任命された「地区代表委員」の方がいます。年5回の委員会に出席し、毎月各地区からネタや原稿、話題を集め編集部を提供し、毎月「ロータリーの友」に対するレポート提出したりするそうです。

代表理事以下7名の理事に5名の編集担当の5

名を加えた12名が毎月1回、編集会議を行い、「ロータリーの友」の企画や方向性を決定していきます。そして、編集長以下6名の編集スタッフが、取材・ライティング・編集・レイアウト等、印刷以外の全ての制作を行います。編集スタッフの毎月のスケジュールは別紙資料のとおりです。毎回月末までに各クラブに到着するようスケジュールが組まれていて、通常、25日完成、26日発送ということになっています。

二神編集長の1ヶ月の動きというと、25日に発行を終えると、早速、次号の企画・取材・原稿書きが始まり、8日の締め切りに向け、編集・レイアウトの陣頭指揮に追われます。そして、10日には完全なデータに仕上げ、印刷業者に渡します。編集の合間を縫って全国に卓話に回ったり海外に行ったりと大忙しの日々を送っています。

また、編集長は2年に1回R I会長が招集する「全世界の編集者会議」というものに参加し、それが無い年に開催される「アジア・パシフィックの編集者会議」にも参加しています。それ以外にも年5～6回は取材や会議で世界中を飛び回っているようです。編集長は、大学卒業後知人の紹介で事務局に就職し今年27年目を迎えるという超ベテランです。

事務局は、昨年一般社団法人となりました。それ以前は任意団体でしたが、税務上は法人とみなされ法人税を納めておりました。「ロータリーの友」の発行を中心に年間約3億円近い売上を計上されているそうです。

今月号の表紙は、横組みが、知床半島で母親のヒグマが子連れで魚を探している様子です。縦組みが、小諸城跡の懐古園から千曲川を見下ろした様子です。昨年今の頃の編集会議で、今年度は「自然」をテーマとした表紙でいこうということが決定したそうです。そして、岡井さんというジャーナリストが表紙を解説することが決まりました。そして、岡井さんの紹介でカメラマンが二人決まり、昨年の5月に岡井さんの段取りで編集長を含めた4人が会ったそうです。その日のうちに数万枚の写真の中から1年間の表紙を飾る写真が決まり、それらの写真について岡井さんがその場でカメラマンにインタビューをし、後日解説文が送られてきたようです。お二人の写真家は、かなり有名な一流の写真家だということです。

横組みの表紙の裏をご覧ください。野村不動産の広告が載っています。「ロータリアンが広告掲載をしてくれるのですか？」と尋ねたところ「ロータリアンかどうかはわかりませんが、ロータリアンにお願いをするということはありません。広告代理店が正規に販売してきます」と答えていただきました。広告掲載料は資料の通りです。

「THE ROTARIAN」からの転用記事は同時掲載をしなければなりません。「THE ROTARIAN」の中で「R I指定記事」は同じ月の発行号で掲載が義務付けられており、その他は推奨記事から任意を選んで掲載をします。「THE ROTARIAN」の

内容は、世界中の編集部が共通フォルダーを共有し、IDパスワードでいつでもアクセスして記事を見に行けるようになっていきます。編集長が推奨記事のタイトル等で「ロータリーの友」に掲載するかどうかを判断していきます。掲載する全ての記事はスタッフが翻訳し、編集長が翻訳に間違いが無いかどうかの最終チェックを入れます。

横組みP8～P12の記事や縦組みP22～P33の記事は、地区代表委員の方々が集めてきた記事が掲載されます。P13をご覧ください。これは3月11日に起きた東日本大震災の写真です。先ほど述べたとおり、毎月10日には完全データが印刷所に回っております。本来、ここはニュージーランドで起きた地震の写真とお見舞い記事でした。ところが、あの大地震が起きたということで、「ニュージーランドではない、日本だろう」ということになり、締め切り後に大慌てで差し替えたのがこの写真と記事です。

縦組みの巻頭ページは、いつも各地の地区大会などの講演要旨が掲載されています。これは、編集長が事前に「ガバナー月信」や「会報」などで講演のタイトルをチェックし、興味の沸いた講演があると主催者に録音を依頼し、送ってもらったものを聞き、テープおこし(リライト)をして記事にまとめ上げていきます。また、これぞという講演がある場合には、編集長が自ら地区大会等に出向き、取材をして記事を書きます。

「この人 この仕事」のコーナーは、やはり地区代表委員の方に、地区の中から適任者を探してもらいます。紹介があった方を取材するかどうかを編集会議で決定します。取材することになると、フリーライターに依頼をし、フリーライターがア

ポを取り、写真家とともに訪問し記事ができあがっていきます。

「卓話の泉」は各クラブの会報から選び、掲載しています。

「俳句等のコーナー」ですが、相当な数の応募があるそうです。ここに書かれている選者は超一流の名人だそうです。

「バナー自慢」です。当初は、こういう企画ではなかったようですが、ものすごい数の応募があり、急遽このような企画になったようです。今まで280を超える応募があり、160以上のバナーが紹介されないまま手元にある状態です。

「友愛の広場」も、すごい数の応募があります。応募されてきたものは全部編集長が目を通し、採用を決定します。中には手書きでの投稿もあり、読めないことも多々あるようです。どうしても読めない場合には本人と連絡をとるそうです。特に編集長が若い頃は、明治生まれのロータリアンの方の投稿も少なくなく、今では使われていない漢字や言葉遣いが多く、これには本当に読めなくて困ったようです。

私は、昨年の7月から毎月「ロータリーの友」を紹介させていただいております。毎回、限られた時間の中で、皆様に何を伝えたらいいのかを念頭に置きながら読んでおります。例会で紹介をする際は、「できるだけ短時間で紹介をする」ということが課題となってきます。いつしか、たっぷり時間をいただいて丁寧に紹介してみたいものだ、と思うようになっていたので、本日、このように卓話の時間をいただいたことは、本当にうれしく思っています。本日は、ありがとうございます。

第2670回例会

例 会 報 告

2011年4月6日

会 長 挨拶



伊原清良 会長

久しぶりの例会であります。皆様、この2週間どのように過ごされたでしょうか。東日本巨大地震の爪あとを知れば知るほど、3月11日という日は、この日本という国のターニングポイントになった日と思われま。終戦記念日の昭和20年の8月15日と同じ意味を持つ日となってしまいました。日本の復興の道筋は大変に困難であります。今朝の新聞記事には、台湾で避難学生をホームスティとして受入れるとか、遠い南アフリカでは日本のためにチャリティライブコンサートが開催されたとありました。原発の

終息は見えず、食品への風評被害も日増しに強くなってきています。

さて島村俊充会員に米山奨学生カウンセラーの委嘱状が届いています。米山奨学会は毎月14万円をお渡しするロータリー運動の目玉であります。前回の理事会で、大川吉美会員に些細ですが地震のお見舞いを差し上げる決定がなされました。大川会員と直接電話でお話しましたが、雇用確保などで宮城県釜石という地域での再出発が社会的に望まれているということなので、自分はそれで行くとのことでした。

草野進会員が会長の時に姉妹クラブ締結を調印した台湾の台北天和ロータリークラブから義援金が届きました。当初はレトルト包装した米を送るなどの話がありましたが結論として、日本円で213万7000円を京葉銀行のニコニコボックス口座にて受け取りました。加瀬支店長にはお世話を掛けました。天和クラブの誠意にお応えするのが礼儀です。最良の方法を模索していきたいと考えて

います。

そこで、松戸クラブとしての義援金・奉加帳を廻らせて頂きます。若い頃、加藤栄会員から「たらいの水」の話を聞いたことがあります。たらいの水は手前に引き寄せると逃げていき、先方に押すところに戻ってくるという話でありました。いい話であります。商工会議所からも当社に義援金BOXが届いています。「たらいの水」の話をしながら社員全員に気持ち良く出してごらん、と言いました。

私は食品業界にいますので、この震災でどんなことになっているか、かい摘んでお話ししたいと思います。まず、**片栗粉**というのは北海道の馬鈴薯でんぷんを原料として当社で小分けして出荷しています。ホクレンの美幌工場よりJRの5トンコンテナ・2台で25kg・440袋ずつをほぼ毎日購入していました。ところが震災日を境にピタッとストップしてしまいました。地震で各地に停滞したのでしょうか。10日位たってから鉄道の回復見込みが立たないので、しびれを切らして当社で20トンのトレーラー車を手配して北海道まで買いに行く決意をしました。聞けば、オホーツク側にある美幌工場に積んで、苫小牧からフェリーに乗って海上に出て、裏日本沿いに南下し新潟港に上陸して松戸まで到着させるという。救援物資優先なので、場合によっては福井の敦賀港に廻される可能性もあるとのこと。別途自社負担運賃が25kg・800袋で金額は27万円。苦勞させられています。現在の物流はやや回復しました。

本職の方は**パン粉**です。主原料は小麦粉です。パンやラーメンなど用途は広く、販売シェアは日清製粉40% 日本製粉20% 昭和産業10% 日東富士製粉10%です。四大製粉と言われています。その他が中小製粉となります。カナダ、アメリカ、オーストラリアから小麦として日本に持ち込まれます。宿命として臨海に立地せざるを得ない訳です。松戸市の高橋製粉や栃木県などにある製粉工場は山工場といわれ原料購入コストが別に発生する訳です。一年前の雪和食品は仕入小麦粉の90%を昭和産業に託していました。ところが半年ほど前から色々な御縁が生じまして日清製粉や日東富士製粉から購入するようになっていました。日清製粉の銘柄によっては本年2月から購入開始したものもあります。結論としては「超がつくラッキー」でした。原料仕入がスムーズにいきました。昭和産業のメイン工場は茨城県の鹿島工場であります。もろに大被害を受けました。信じられないでしょうが20万トンコンテナの外国船が座礁していたそうであります。壊滅とまではいえませんが、つい最近まで出荷停止状態でした。昭和産業には神戸にも工場がありますが「焼け石に水」でした。日清製粉は鶴見と千葉に工場がありますが被害は軽微でした。とはいうものの鶴見工場の立体倉庫から1万袋が落ちたり、破れたり散乱したそうであります。無人自動立体倉庫とは名ばかりです。修理

時には「超有人手動倉庫」となります。想定外の地震だったのでしょうが復旧に手間がかかりすぎて、高所ですから鳶職に依頼して解決していったそうです。今回はイースト菌や包装資材など二社購買の必要性を実感しました。もちろん回復した昭和産業の製品も購入させていただく話はついていきます。

4月はロータリー雑誌月間であります。卓話はゴルフがとても上手な松本幸夫会員です。

伊原社長 殿

前略、貴国の東日本巨大地震と津波による被害甚大の報に触れ、本国国民及び本社社友一同驚きと共に被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。本社創社社長CP Leonそして多数の社友共々で、少しでもお役に立てるように募金活動を行いました。3月26日をもちまして、26名の社友から、合計約日本円2,137,000の寄付が集まりました。3月31日付けにて貴社ご指定の銀行口座へ送金致しますので貴社から救援機関を通じて、被災者の方々の支援や復興のお役に立てて下さい。このうえは、貴国国民の一日も早いご復興をひたすらお祈り申しあげます。まずは取り急ぎ、お見舞い申し上げます。

2011年3月31日

社長 李幼玲 Bonita
台北天和扶輪社

国際ロータリー第3520地区 台北天和扶輪社
社長 李幼玲様

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お慶び申し上げます。さて天和ロータリークラブからの義援金を確かに受け取りました。心より御礼を申し上げます。今のところ幸いに松戸ロータリークラブの会員には怪我をしたり大きな被害を受けている話は聞いていません。今は日本全体で大きな悲しみに包まれています。日本人は粘り強く復興をめざしていくものと信じています。頂戴した義捐金をどのようにするかはロータリアンの衆知を集めようと考えているところです。どうか天和ロータリーの会員の皆様にくれぐれも宜しくお伝え下さい。まずは御礼まで。

敬具

国際ロータリー第2790地区
松戸ロータリークラブ 会長 伊原清良

第10回 理事会報告

【議 題】

4月20日例会時に本郷谷松戸市長に義損金213万円を渡します。

承認

プログラムの件
承認

松戸ロータリークラブの義損金105万円のうち52万円(1人、10,000円分)を2790地区ガバナー事務所に、残金は今後どうするか検討します。
承認

島村善行会員から、生活習慣病セミナーイン松戸開催にあたり、松戸ロータリークラブに協賛のお願い。
承認



【入会】山田 達郎君
平成20年4月23日(3年)



【入会】加瀬 仁君
平成22年4月14日(1年)



【誕生】小川 一君 1日



【誕生】森田 雅久君 9日



【誕生】橋口 和幸君 16日



【誕生】三国 大吾君 30日

幹 事 報 告

松田茂一 幹事



1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内
例会終了後理事会を開催します。

2. 外部からの会議・連絡事項等の案内

5クラブ親睦ゴルフ大会は中止となりました。

3. 他クラブ会報・その他
特にございません。

4. 例会変更の連絡
特にございません。

5. その他報告
特にございません。



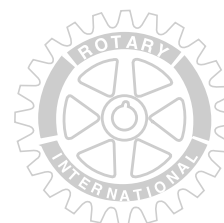
【誕生】篠宮 功君 11日



【結婚】松田夫妻 16日



【結婚】中山夫妻 19日



入会記念日 柳澤 正敏君 平成7年4月1日(16年)

会員誕生日 加瀬 仁君 9日

大川 吉美君 12日

柳澤 正敏君 16日

ご夫人誕生日 富田 敬子様 12日

田中 恵子様 13日

中澤 千草様 22日

結婚記念日 杉浦(裕)夫妻 8日

小泉 夫妻 17日

大川 夫妻 29日

お 祝 い



【入会】小泉 勝司君
昭和54年4月4日(32年)



【入会】杉浦 裕君
昭和55年4月2日(31年)

例 会 報 告



伊原会長より島村俊充会員に
米山奨学生カウンセラー委嘱状



小川会員



松葉会員

[出席報告]

会員52名	義務会員43名	免除会員 9名
出席48名	義務会員40名	免除会員 8名
仮欠 4名	義務会員 3名	免除会員 1名

[欠席者]

大川 吉美君 田原 晨暁君 中田智次郎君

[M U]

三国 大吾君 東京新宿 R C 3月18日

本日出席率 94.12%
先々週出席率修正 83.67% 85.71%

ニ コ ニ コ B O X

富田善治君 / 結婚記念日と家内の誕生日併せてありがとうございました。

小泉勝司君 / 結婚記念と入会記念の御祝いをいただき有難うございます。大分草臥れて来ましたが、もうすこし、頑張ります。

杉浦 裕君 / 結婚記念入会記念ありがとう御座居ます。

田中忠行君 / 妻の誕生日のお祝ありがとうございました

ます。何才だか知りませんが毎年お花を楽しみにしております。

中山政明君 / 結婚記念日お祝いありがとうございます。37年目となりました。2人だけの旧婚旅行が多くなりました。去る2月20、21、22日と岩手県三陸海岸の旅、宮古から南へ大船渡まで美しい海岸と街並を観光してまいりました。ワカメ養殖で有名なおいしいワカメのシャブシャブを味わいました。今ではあの美しい町が大変残念なこととなりました。おくやみ申し上げたいと思います。

常盤映彦君 / 任務一覧を提出致しました。ご協力宜しくお願い申し上げます。

織田信幸君 / 所用に依り早退させていただきます。

松田茂一君 / 結婚記念日のお祝いありがとうございます。37年目となります。

森田雅久君 / 誕生日お祝いありがとうございます。

中澤雅彦君 / 家内の誕生日のお祝いありがとうございます。

小川 一君 / 誕生日のお祝いありがとうございます。

橋口和幸君 / お誕生日のお祝いありがとうございました。おかげ様で48才になりました。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

山田達郎君 / おかげさまで、入会して3年たちました。まだまだわからないことばかりです。今後ともよろしくお願いいたします。

加瀬 仁君 / 誕生日のプレゼントと入会記念ありがとうございます。何が起こるかかわからない世の中ですので1日1日を大切にしていきたいと思えます。今後ともよろしくお願い致します。

三国大吾君 / 誕生日のお祝い有難うございます。毎日を有意義に過ごしたいと思っております。

篠宮 功君 / 誕生日のお祝いありがとうございます。見た目は、30才ですが44才になりました。今後共よろしくお願い致します。

ニコニコBOX	当日 ¥ 96,000	累計 ¥ 1,051,000
財 団BOX	当日 ¥ 5,035	累計 ¥ 133,139

文責 / 車田